

授業計画：計15回

第1回（4月12日・火）

21世紀は「アジアの時代」：東アジアの現状とEU

丸山鋼二（国際学部）

第2回（4月19日・火）

アジア共同体と民主主義：「言論の自由」の視点から

梅村卓（明治学院大学）

第3回（4月26日・火）

帝国日本の歴史経験——「満洲国」の「農業遺産」

湯川真樹江（学習院大学）

第4回（5月7日・土）

「満洲国」という歴史経験—日本人の「国籍観念」

遠藤正敬（早稲田大学）

第5回（5月10日・火）

ヨーロッパからみた日本と中国

董宏（オランダ在住・日中翻訳家）

第6回（5月17日・火）

アジア理解のための基本的議論：今なぜアジア共同体か？

鄭俊坤（ワンアジア財団首席研究員）

第7回（5月24日・火）

英語はアジア共同体の共通言語となり得るのか

生田祐子（文教大学国際学部）

第8回（5月31日・火）

東アジア福祉共同体は可能か：少子高齢化から考える

金香男（フェリス女学院大学）

第9回（6月7日・火）

アジア地域協力の再考——ふたつの『戦後』と地域覇権

松村 史紀（宇都宮大学）

第10回（6月14日・火）

アジア共同体とNGO

渡邊暁子（文教大学国際学部）

第11回（6月21日・火）

アジア共同体の可能性と市民意識の変革（北東アジアを中心として：記憶・課題、そして我々の未来）

暉峻僚三（川崎市平和館、東洋学園大学）

第12回（6月28日・火）

アジア共同体とグローバル教育

寺野摩弓（秋田・国際教養大学）

第13回（7月5日・火）

台湾の歴史認識

許育銘（台湾・東華大学）

第14回（7月12日・火）

ITはアジアの相互理解を深めるか

黄昇民（北京・中国伝媒[メディア]大学）

第15回（7月19日）

アジア共同体のビジョン：市民の役割

佐藤洋治（ワンアジア財団理事長）